

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」進捗状況一覧表  
地域子ども・子育て支援事業

事業名 〔事業概要〕	単位 (年)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 【参考】	令和4年度実績	進捗状況評価	担当
<b>利用者支援事業</b> 〔保育コーディネーター：各区子育て支援課に配置し、認定こども園・保育所等の利用に関する相談、情報提供を行う。〕 (1) 子ども未来サポーター：子育て支援センターに配置し、認定こども園等やその他子育て支援事業全般に関する相談、情報提供を行う。〕 (子ども未来サポーター：妊娠・出産前から子育て期までの、母子保健や育児に関する相談を行い、切れ目ない支援体制を構築する。〕	か所	18	18	18	18	18	18	3か所	(保育コーディネーター) 各区子育て支援課に保育コーディネーターを配置し、発達相談や情報提供等、情報提供をすることができた。 (子ども未来サポーター) 12か所に子ども未来サポーターを配置し、各種相談対応や情報提供等を実施した。令和6年度の量の見込みについては達成している状態である。 (子育て世代包括支援センター) 新体制(各区子育て支援課付)にて、目標どおり事業を実施した。	子ども未来課 幼保支援課 子ども家庭課
	人	5,873	5,915	5,944	5,989	6,063	6,063	受入した子どもの数 (公立園1,467人 私立園3,142人)	※公立園 実施するすべてのこども園において、延長保育の二一ズに対応した。 ※私立園 実施するすべてのこども園等において、延長保育の二一ズに対応した。また、適正に補助金を交付することにより、事業運営を支援することができた。	幼保支援課 こども園課
<b>時間外保育事業 (延長保育)</b> 〔保育標準時間認定及び保育短時間認定の在園時に対し、通常の保育時間を超えて保育を実施する。〕 (2)	人	6,353	6,461	6,613	6,726	6,785	6,754	69校 ※小学校統合による減	運定員ベースでは、令和3年度中に新たに整備した公設放課後児童クラブ1室(35人)と民間放課後児童クラブ11室(9クラブ381人)を含む、216室7,131人分を確保した。 待機児童数は108人(行けるクラブがあったも保護者の希望で待機している数を含む。国基準待機児童数は30人)となり、待機児童解消には至らなかった。一部の学区で高学年を中心に教員不足待機者が出ている。 保育施設と違い他学区の公設クラブを利用することは困難であり、学校敷地内で新たに整備する場所を確保することも困難になりつつあるため、送迎により広域的な学区の児童を預かることができ民間放課後児童クラブを令和4年度に3クラブ(4単位)増やしたことで待機児童増加の抑制に繋がったと考える。	子ども未来課
	<b>放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)</b> 〔就労等により昼間家庭にいない保護者に代わり児童の健全な育成を図る。〕 (3)	人(室)	2,017	2,053	2,102	2,097	2,094	2,041	利用希望者5,884人に対し、5,776人(92クラブ216室)を受入(令和4年5月1日)	児童クラブの児童が放課後子ども教室の活動に参加できるよう、児童クラブの支援員と地域学校協働活動推進員や放課後子ども教室のスタッフによる打ち合わせを行っている。こうした連携により、地域人材を生かした体験活動の児童が参加できるようになった。安全管理や事故対応等の体制整備が進んだりするようになった。そして、学校・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の連携強化が強化された結果、参加児童の満足度が91.2%と高評価を得ている。
<b>総合的な放課後子ども対策の推進</b> 〔放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型又は連携型による実施〕 (全児童を対象とした子ども教室に児童クラブの利用児童も参加できるように、同一の小中学校敷地内等で両事業を一体的に実施する。〕	校	71	71	71	71	71	71	81校	児童クラブの児童が放課後子ども教室の活動に参加できるよう、児童クラブの支援員と地域学校協働活動推進員や放課後子ども教室のスタッフによる打ち合わせを行っている。こうした連携により、地域人材を生かした体験活動の児童が参加できるようになった。安全管理や事故対応等の体制整備が進んだりするようになった。そして、学校・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の連携強化が強化された結果、参加児童の満足度が91.2%と高評価を得ている。	子ども未来課 教育総務課
	整備の進め方	71	71	71	71	71	71	71	67校	児童クラブの児童が放課後子ども教室の活動に参加できるよう、児童クラブの支援員と地域学校協働活動推進員や放課後子ども教室のスタッフによる打ち合わせを行っている。こうした連携により、地域人材を生かした体験活動の児童が参加できるようになった。安全管理や事故対応等の体制整備が進んだりするようになった。そして、学校・放課後児童クラブ・放課後子ども教室の連携強化が強化された結果、参加児童の満足度が91.2%と高評価を得ている。

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」進捗状況一覧表

資料 1-2

地域子ども・子育て支援事業

事業名 〔事業概要〕	単位 (年)	令和2年度 令和3年度 令和4年度 令和5年度 令和6年度 【参考】 令和7年度							進捗状況評価	担当
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和4年度実績		
(4) <b>子育て短期支援事業</b> (ショートステイ事業) 〔児童福祉施設等において短期入所を実施する。〕	人日	252	252	252	252	252	252	95人日	実施施設3か所において必要に応じた事業実施ができた	子ども家庭課
	か所	3	3	3	3	3	3	3か所		
(5) <b>乳児家庭全戸訪問事業</b> (こんにちは赤ちゃん事業) 〔生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、保健師等が訪問し、相談・助言・情報提供等を行う。〕	人 (か所)	4,655	4,581	4,522	4,467	4,423	4,423	4,107人 (99.2%)	コロナ禍においても、未訪問者への電話勧奨等の徹底を図り、一定の訪問率を維持した。	子ども家庭課
	確保の内容	60	60	60	60	60	60			
(6) <b>養育支援訪問事業その他要保護児童等支援に資する事業</b> 〔養育支援が時に必要であると判断した子育て家庭に対し、専門的資格を有する訪問員等が訪問し、指導・助言・家事援助を行う。〕	世帯数	23	23	23	23	23	23	訪問世帯数 21世帯 (訪問員：17人)	訪問調査に対して支援計画を100%作成できた。	子ども家庭課
	確保の内容	訪問員 20人程度	訪問員 20人程度	訪問員 20人程度	訪問員 20人程度	訪問員 20人程度	訪問員 20人程度			
(7) <b>地域子育て支援拠点事業</b> (子育て支援センター) 〔未就園児とその保護者が気軽に集い、相互交流ができる場所を提供し、また、子育ての不安や悩みの相談・助言等を行う。〕	人回	267,947	262,588	259,908	257,228	254,550	254,550	168,564人回 21か所	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減っており、令和6年度の量の見込に対し66%となったが、徐々にコロナ前より増加しており、21か所で子育て支援センターを開設し、利用者のニーズに応えられている。	子ども家庭課
	か所	21	21	21	21	21	21			

「静岡県子ども・子育て・若者プラン」進捗状況一覧表

資料1-2

地域子ども・子育て支援事業

事業名 〔事業概要〕	単位 (年)	進捗状況							担当	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和4年度実績		
<b>一時預かり事業</b> (認定子ども園・保育所においては、家庭で保育を受けることが一時的に困難となった乳児・幼児を預かる事業。 (8) 幼稚園においては、通常の保育時間の前後に預かり保育を行う事業。)	人日	量の見込み	195,194	189,771	181,364	176,018	172,061	(公立園) 実施するすべての子ども園において、一時預かりのニーズに概ね対応することができた。 (私立園) 実施するすべての子ども園等において、一時預かりのニーズに概ね対応することができた。また、適正に補助金を交付することにより、事業運営を支援することができた。 (公立園) 実施するすべての子ども園において、一時預かりのニーズに概ね対応することができたが、保育者不足による人材確保が課題である。 (私立園) 実施するすべての子ども園等において、一時預かりのニーズに概ね対応することができた。また、適正に補助金を交付することにより、事業運営を支援することができた。 (センター) 静岡中央及びひ清水中央子育て支援センターにおいて、一時預かりのニーズに概ね対応することができた。向施設とも、指定管理者による適正な子育て支援体制を維持することができた。 (待機児童園) 利用者は減少傾向であるものの、ニーズに概ね対応することができた。	幼保支援課 子ども園課	
		1号認定	17,568	17,079	16,323	15,842	15,485			公立子ども園利用 6,176人回 私立幼稚園等利用 200,878人回
		2号認定	177,626	172,692	165,041	160,176	156,576			
		確保の内容	195,194	189,771	181,364	176,018	172,061			
		量の見込み	44,381	43,258	42,133	41,217	40,509			
		確保の内容	68,310	67,754	67,205	66,748	66,400			
		認定子ども園・保育所等	21,866	21,310	20,761	20,304	19,956			
		中央子育て支援センター	14,800	14,800	14,800	14,800	14,800			
		待機児童園	31,644	31,644	31,644	31,644	31,644			
		公立認定子ども園 412人日 私立認定子ども園 3625人日 私立保育所等 5075人日 センター 12,795人日 待機児童園 3,197人日								
<b>病児保育事業、子育て援助活動支援事業</b> (病児・緊急対応強化事業) (施設型：子どもが病氣中、病氣の回復期で集団保育が困難な期間に一時預かりを行う。) (緊急サポート事業：病氣中・病氣の回復期にある子どもや緊急的な預かりを会員相互との連絡調整等により行う。)	人日	量の見込み	8,535	8,318	8,104	7,925	7,790	(施設型) 市内3か所(各区1か所)において、病児保育のニーズに概ね対応することができた。 (緊急サポート) まかせて委員の確保は、令和6年度の見込に対し78%となったものの、病児保育のニーズに概ね対応することができた。	子ども未来課 幼保支援課 子ども園課	
		確保の内容	7,036	7,246	7,456	7,666	7,876			
		施設型	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500			
		緊急サポート	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)			
		施設型 緊急サポート	2,500 (3)	2,500 (3)	2,500 (3)	2,500 (3)	2,500 (3)			
施設型：872人日 3か所 緊急サポート：144人日 200委員										

「静岡市子ども・子育て・若者プラン」進捗状況一覧表  
地域子ども・子育て支援事業

事業名 〔事業概要〕	単位 (年)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和4年度実績	進捗状況評価	担当
(10) <b>子育て援助活動支援事業</b> (ファミリー・サポート・センター事業) [子どもの一時的な預かりや移動支援等を会員相互との連絡・調整等により行う。]	人日 (会員)	量の見込み	13,676	13,402	13,129	12,814	12,541	就学児：3,610人日 (2,361会員) 未就学児：3,782人日 (2,971会員) 合計：7,392人日 (5,332会員) まかせて会員：1,095会員	令和6年度の見込に対し、92%の会員数を確保した。一時預かりのニーズに概ね対応することができた。	子ども未来課
		就学児	6,975	6,835	6,696	6,535	6,396			
		未就学児	6,701	6,567	6,433	6,279	6,145			
		確保の内容	14,430 (1,110)	14,690 (1,130)	14,950 (1,150)	15,210 (1,170)	15,470 (1,190)			
(11) <b>妊婦健診</b> [母子健康手帳交付時に受診票を交付し、医療機関等への受診を勧奨する。]	人回	量の見込み	4,638	4,565	4,506	4,451	4,407	3,868人 48,527件 (12,55回)	妊婦健診における1人当たりの平均受診回数において、高い水準を維持している。	子ども家庭課
		実施場所	55,563	54,688	53,981	53,322	52,795			
		全国的協力医療機関								
		確保の内容								
(12) <b>実費徴収に伴う補足給付事業</b> [生活保護世帯に対し、保育所等が徴収する日用品や文具等の購入に要する費用を補助する。]	人	量の見込み	1,001	980	954	936	924	日用品 149人 (公立51人) (私立98人) 給食費 221人 (国立9人) (私立212人)	(日用品・給食費) 対象となるすべての世帯に対して適正に費用を補助することにより、利用者の負担軽減に寄与した。	幼保支援課
		日用品	174	170	166	163	161			
		給食費	827	810	788	773	763			
		確保の内容	1,001	980	954	936	924			
(13) <b>多様な主体の参入促進事業</b> [教育・保育施設の運営に新規参入する事業者に対して、事業経費のある者を活用した巡回支援等を行う。] [健康面や発達面において特別な支援が必要な子どもを2人以上受入れる私立認定こども園の設置者に対して、職員に加配に必要な費用の一部を助成する。]	回	量の見込み	5	21	4	0	0	新規参入施設への延べ訪問回数：2回	令和4年度に新規参入した全施設への巡回支援を実施しており、必要な指導・助言を行っている。	子ども未来課
		確保の内容	5	21	4	0	0			
		量の見込み	2	2	2	2	2			
		確保の内容	2	2	2	2	2			